

1 歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち

1 歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち

京丹後の経済成長を考え行動します

■新経済戦略の推進 【商工費】102万円 (商工観光部 商工振興課)

平成25年に制定した「京丹後市商工業振興条例」や「京丹後市新経済戦略」に基づく商工業振興の取組みを着実に進めるため、「京丹後市新経済戦略推進会議」を開催し、推進状況の確認や方策の検討を行います。また、市民や事業者などが経済発展について考える機会とする「京丹後経済成長戦略新懇話会」を開催します。



中小企業庁北川長官による講演(平成26年8月)

農業研修生を支援します

■丹後農業実践型学舎の推進 【農林水産業費】970万円 (農林水産環境部 農政課)

平成25年7月に京都府と京丹後市の共同事業で丹後農業研究所内に丹後農業実践型学舎を創設し、国営開発農地に入植して大規模農業経営を目指す研修生を支援しています。2年間の研修期間を終了後は、農家として独立することとなります。

- 研修生
・平成25年度：10人
・平成26年度：9人



ニンジンの種まきをする学舎生

農家・漁家民宿を推進します

■農家・漁家民泊の振興 【農林水産業費】53万円 (農林水産環境部 農政課)

豊かな自然や地域の農林水産物を活用したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムを推進するため、農家民宿・漁家民宿を活用した体験ツアーなどを実施するとともに、ツアー企画を旅行業者等に提案して、今後の農家民宿等の軒数増加や地域の活性化を図ります。



農家民宿での団らの様子

- グリーンツーリズム▶都市住民が農家などに滞在して農作業を体験したり、地域の歴史や自然に親しむ余暇活動
ブルーツーリズム▶都市住民が島や沿海部の漁村に滞在して、海辺での生活を体験する余暇活動

新規就農者の農業機械整備を支援します

■新規就農者実践農場整備支援事業補助金 【農林水産業費】(拡充)240万円 (農林水産環境部 農政課)

平成27年度から独立・自営により新規就農する者(丹後農業実践型学舎卒業生)に対し、農業機械の賃借費用を支援します。

農業機械に係る設備投資は、新規就農者にとって大きな負担となるため、その負担を軽減して早期の経営安定化を支援することにより、地域農業の担い手確保を図るものです。○支援期間：最長1年
※支援期間中は技術指導者を設置して指導や助言を受けながら営農することが条件となります。



ネギ移植機の操作指導を受ける学舎生

良食味米作りを支援します

■日本一の特A米産地づくり推進事業 【農林水産業費】90万円 (農林水産環境部 農政課)

日本一の特A米産地の確立を目指すため、集落営農組織等が行う良食味米づくりのための先進的な取組を支援します。(事業期間：平成28年度まで)

- 補助率：2/3以内
○補助限度額：50万円
○事業費：2万円以上



葉緑素計による葉色の診断

国際親善大会を支援します

■歴史街道丹後100kmウルトラマラソン 【商工費】509万円 (商工観光部 スポーツ観光・交流課)

国際親善大会「第15回2015歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」の開催を支援し、1年を通して滞在型観光を推進します。

- 開催予定日
平成27年9月20日(日)



ウルトラマラソンのスタートの様子(100kmの部)

認定農業者及び集落営農組織等を支援します

■地域農業振興事業補助金 【農林水産業費】(拡充)300万円 (農林水産環境部 農政課)

営農規模の拡大を図る認定農業者(法人を含む)、機械などの共同利用等による省力化や永年性作物の栽培に取り組む集落営農組織等が、機械・施設の導入等に対して支援します。(事業期間：平成27年度～平成31年度まで)
○補助率：事業費の1/2以内(上限50万円)



永年性作物▶果樹(梨、桃、ブドウなど)の他、オリーブ、桑等

海洋資源の調査を行います

■海洋資源活用調査等の海業推進 【農林水産業費】(拡充)154万円 (農林水産環境部 海業水産課)

京丹後市の豊かな海と豊富な海洋資源を有効活用し、漁村地域の活性化を図るため、日本最大の可能性のある海蝕洞「犬ヶ岬」周辺海域をマリンレジャー等の観光資源として活用するための調査を行います。また、漁業関係者と観光業者等との連携事業を支援します。



海域調査(イメージ)

「海の民学舎」を開設します

■「海の民学舎」の運営 【農林水産業費】(新規)15万円 (農林水産環境部 海業水産課)

平成27年度から漁業団体と府、沿海市町が共同で学びの場となる「海の民学舎」を開設し、漁業就業に必要な基本知識や技能を習得させ、将来の漁業や漁村を支える人材を育成するため、学舎運営の一部を負担します。

- 開設場所：京都府農林水産技術センター 海洋センター(宮津市)



研修イメージ

世界認定を受けたジオパークの魅力発信

■「APGN山陰海岸シンポジウム」「JGNガイドフォーラム」の開催 【商工費】(新規)172万円 (商工観光部 観光振興課)

アジア太平洋地域のジオパーク関係者による「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)山陰海岸シンポジウム」と、国内ジオパークのガイドによる「日本ジオパークネットワーク(JGN)ガイドフォーラム」の開催を支援するとともに、ジオツアーや企画展示等の開催により、国内外の参加者にジオパークによる本市の魅力を発信します。
○京丹後市会場(アミティ丹後)
平成27年9月15日～16日(予定)



前回のアジア太平洋ジオパークネットワーク(韓国)の様子

観光プラットフォームの形成を支援

■京丹後市観光協会の運営支援 【商工費】3,728万円 (商工観光部 観光振興課)

第2次京丹後市観光振興計画に掲げた観光プラットフォームの中心として、観光客誘致、各種メディアや旅行者への情報提供、観光案内のワンストップ窓口としての情報発信、ジオツーリズム、インバウンド等、観光推進活動に取り組む観光協会を支援します。



本市に招致したタイメディアチームの歓迎レセプションの様子

- 観光プラットフォーム▶着地型旅行商品の造成や販売を行うため、地域内の着地型旅行商品の提供者と市場(旅行会社、旅行者)をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体
着地型旅行商品▶旅行先の地域が主体となり、各種体験や地元産品等当該地域ならではの観光資源を活用して造成された旅行商品